

令和4年度第3回西宮市上下水道事業審議会会議録

開催日時 令和5年2月20日（月） 午後1時30分～午後3時37分

開催場所 西宮市役所第二庁舎8階801・802会議室

出席者 委員側 学識経験者：5名、使用者代表：6名  
当局側：19名

傍聴者 1名

議題 (1) 西宮市水道事業経営戦略の進捗管理について  
(2) 西宮市下水道事業経営戦略の進捗管理について  
(3) 令和5年度西宮市上下水道事業会計予算（案）について  
(4) その他 業務紹介：水道計画課「管路更新計画について」  
(5) 第2回審議会のビデオ視聴『生活と水』にかかる意見交換

<議題に対する委員からの意見等>

【議題1 西宮市水道事業経営戦略の進捗管理について】

- 当局からの説明
- 各委員からの主な意見・質問なし

【議題2 西宮市下水道事業経営戦略の進捗管理について】

- 当局からの説明
- 各委員からの主な意見・質問なし

【議題3 令和5年度西宮市上下水道事業会計予算（案）について】

- 当局からの説明
- 各委員からの主な意見・質問

(委員)

水道事業会計も下水道事業会計も予算案の概要の収益的収入にその他があるが、その他とするには、収益的収入に対して割合が大きいと思うので、具体的に項目と金額を教えてほしい。

(事務局)

資料6の参考資料に水道であれば、6ページと7ページ、下水道であれば12ページと13ページに具体的な内容を記載している。下水では、大きい数字だと長期前受金戻入が29億3千万円、他会計補助金が5億1,900万円である。

(委員)

参考資料6ページの一番上に水道収益があり、給水収益が9億5,000万円、その次の分担金が営業外収益で2億9,000万円と書いてある。それ以外のものを合算して13億8,700万円としているが、給水収益と分担金以外の大きい金額のものは長期前受金戻入の7億6,200万円となっていると思うので、今後は、資料にその他に含まれる大きい金額の項目や参考資料何ページ参照などを記載した方がわかりやすい。

(事務局)

資料の内訳の書き方については、次回以降わかりやすくなるように検討する。

(事務局)

- ・給水戸数は増えているが、人口が減少しており、また巣ごもりの需要が減ってきたことで年間総配水量の予測は減っているという理解でいいのか。
- ・4ページの純利益について、令和3年度は約11億の黒字、令和4年度が6億3千万円、5年度は約5億円の黒字とだんだん減っているが、今後も減少していく見通しなのか。
- ・水道も下水道も電力料金が大幅に上がったことによる影響があるのか。

(事務局)

- ・給水人口が減少しており、1戸あたりの使用水量が減少していることが年間総配水量の減少の原因となっている。
- ・給水収益の減少に伴い、純利益も今後減少していくと見込んでいる。
- ・令和5年度においては、動力費の電気料金の増加に伴い、水道事業では前年比で約1.3億の増、下水道事業では前年比で約2.8億円増となっている。

(委員)

先ほどの3点目の質問に関連するが、様々な公共料金が値上がりしている中、今後、水道料金も値上げを考えているのか。

(事務局)

電力料金の高騰による影響は非常に大きいですが、令和10年度までの現経営戦略で、令和10年度までは料金改定を行わないとしており、電力料金の増加分を水道料金

に転嫁することのないようにと考えている。しかし今後、施設更新等の更新需要も大きくかかることを見込んでいるため、令和11年度以降は厳しい状況と考えている。

(委員)

資料5の6ページにコロナの影響により給水収益で増収を見込むと記載があるが、令和5年度まで影響が続いているのか。

資料5の13ページの資本的収支の収入額は67億4,400万円、前年比100%ということとは令和5年度、令和4年度ともに約67億円となる。資料3の3ページに記載のある令和4年の財政計画値も約67億円となっている。財政計画は5年前に立てた計画だと思うが、そんなに数値が一致するものなのか。財政計画と予算の関係を教えてほしい。

(事務局)

令和2年度の給水収益はコロナの影響で増えており、その影響は減ってきているが、令和5年度の計画値よりは増えていると見込んでいる。

資料6に記載しているのは令和5年度予算と令和4年度予算の比較と、令和5年度予算と財政計画値を比較したものである。

財政計画は、平成30年に令和元年から5年間を計画にしているもので、今後の収入の見込みや料金改定せずに事業が行えるかを確認しているものであり、予算と比較しているのは、財政計画と予算を比較することで、計画値との差を検出し、計画と差がでていないということを示し、今後の事業経営を示すものである。

今後資料の見せ方はわかりやすくなるように検討する。

(委員)

説明いただいたマンホールトイレは、通常時はマンホールの状態で、災害が発生した時に、上部に便器やテントを設置することになると思うが、普段は便器やテントはどこに保管されているのか。

(事務局)

市役所のマンホールトイレ整備方針では、各避難所に便器やテントを保管する計画になっているが、現在は各避難所に設置する設備を現地に保管することが出来ていない。そのため、防災部局や環境部局で保管して、必要な時に持ってきて設置する状況になっている。最終的には、各避難所で保管するように防災部局が計画をしている。

(委員)

マンホールトイレを設置する場合に浸水しにくい場所から設置するなど優先順位などはあるのか。

(事務局)

マンホールトイレについては、各地域の避難所にまんべんなく広く設置できるように計画が進められている。収容人数が多い避難所などである程度の優先順位を決めたり、学校施設は建替工事の計画がある場合にマンホールトイレと一緒に整備させていただくように調整している。

(委員)

マンホールトイレを毎年1避難所に設置するとなると、避難所が現在131箇所なので、すべて設置するためには100年かかることになる。実際震災が発生した場合にはトイレがとても大事になるため、もっと早く設置してほしいと思う。

(事務局)

マンホールトイレが早く設置できればいいが、現状としては各避難所に排便処理用袋、簡易トイレ、移動式トイレなどを備蓄している。それとは別に、避難所に置けない資材は災害が発生した場合には避難所に持って行って利用する体制を取っている。

(委員)

- ・マンホールの下に入っている管は普段何も流れていないのか。
- ・実際使用することになった場合には汚水処理が必要になると思うが、その際の費用はどこが負担するのか。また、万一を想定した訓練も実施していると思うが、その際の費用はどうしているのか。

(事務局)

- ・マンホールトイレの下にある下水管は通常は空になっており、空のまま流されると堆積してしまう可能性があるため、使う場合には一定の水を貯めた状態で使用していただくことになる。マンホールトイレが完成した時に、施設の管理者にマニュアルを渡して、使用方法も説明させていただく。
- ・防災局が窓口になり、年に1回の点検と訓練を各避難所で行う方針になっている。今年度は、避難所の施設管理者と地域の方と一緒に訓練をする計画があったが、新型コロナウイルス感染症の関係で出来なかったため、来年度以降は定期的な訓練を検討している。実際に災害が発生した場合は緊急時の為、費用検討まで

はできていない。

(委員)

- ・先ほどの説明で便器やテントは避難所には置いていないとあったが、災害が起こった際にはどのくらいの時間で設置することが出来るのか。また、仮設トイレ設置孔の設置間隔は5mくらいに見えるが、2m間隔にすることは出来ないのか。
- ・神戸市では、下水を使って肥料を作っているが、西宮市では給水収益や下水道使用料の以外に収益を得るために何かしているのか。

(事務局)

- ・マンホールトイレの設置にかかる時間は30分から1時間程度である。設置個数については、100人に1基という基準で設置しており、簡易トイレや仮設トイレなどを合わせながら活用していきたいと考えている。
- ・本市では、下水処理で出た汚泥は兵庫東スラッジセンターで処理をしている。現在、汚泥から発生するメタンガスを使っての発電や汚泥を燃料化して火力発電所の補助燃料として使うための施設を建設しており、令和8年度か令和9年度には完成する予定となっている。今後、地域のニーズに合わせて色んな方法で資源を有効活用できるように研究していきたいと考えている。

#### 【議題4 その他（業務紹介）】

『管路更新計画について』

- 当局からの説明
- 各委員からの主な意見・質問

(委員)

基幹管路と重要給水施設への管路に関して、経年管路がない状態で、さらに耐震化していくという理解でいいのか。

(事務局)

基幹管路については、厚生労働省が定めている基準が40年と設定されており、超えている管路もあるが、超えていない管路であっても先行して耐震化を行っていくことを目標にしている。重要給水施設への管路についても同じ考え方である。

(委員)

管路更新や議題3で説明のあったマンホールトイレは補助事業になるのか。

(事務局)

国の補助事業の採択基準が厳しいため、管路更新については、単独事業である。

(事務局)

マンホールトイレについては、国の補助事業に採択されているため、事業費の2分の1を補助していただき、事業を進めている。

(委員)

激甚災害が発生して、重要な管路が遮断された場合のシミュレーションなどは行っているのか。

(事務局)

基幹管路の構築に主眼を置いているため、管路のバックアップに関して検討はしているが、今回の計画には含めていない。

#### 【議題5 第2回審議会のビデオ視聴『生活と水』にかかる意見交換】

○当局からの説明

○各委員からの主な意見・質問

(委員)

阪神淡路大震災の時に水の大切さを実感した。今後も予算が厳しいかもしれないが、頑張っていたきたい。

(委員)

水道の水が飲めない地域に住んでいたことがあったため、現在、恵まれた生活をしていると感じている。さらに美味しい水を求めるのは贅沢かもしれないが、今後もより良いサービスを続けていただきたい。

(委員)

昔住んでいた地域は井戸水があったため、水が汚い生活は経験していないが、ビデオを見て蛇口をひねれば綺麗な水が出て飲める生活は豊かで幸せだと感じている。

(委員)

当時の映像はショックなもので、仕事上、水の重要性は理解しているつもりだったが、改めて見つめなおすことが出来た。今後も水の管理や設備の更新を頑張っていってほしいと思うが、そのために水道料金が値上がりすることは反対の立場である。

(委員)

財政状況は厳しいと思うが、市全体で生活に必要なものを捉えなおして管路の更新やマンホールトイレの設置など出来ることをしっかりやっていただきたい。

(委員)

西宮市がこのような映像を作成する際には、過去の震災での経験も含め、市民の方や企業の方に応援してもらうため、何を伝えなければいけないのかを考えていただくとともに、市として頑張っていることもアピールする必要がある。また財源には限りがあるため、今までの生活を維持するための努力が必要であることを幅広い世代に理解してもらう広報活動が必要である。

(委員)

前回欠席したため、ビデオを見ていないが、面白そうなビデオだと思った。水道局側の努力も聞きながら、市民としてこれからどうしたらいいか考えていく必要があると思った。

(委員)

気味が悪いと思うほど、昔の生活はひどかったと感じた。ビデオを見せられた理由を考えると上下水道局の必要性や今後の水道料金値上げをPRするためかなと思った。もし西宮市がそのために映像を作成するのであれば、今回のスライドのような映像はショッキングなので、イラストなどで作成してほしい。

(委員)

今の日本は上下水道の発達によって発展に繋がったと思っているが、農業の世界では今でも水の取り合いがあり、スライドのような状況が残っている。

(委員)

・上下水道局の存在意義は学生の皆さんと同じでビデオのような生活に戻らないようにすることだと思う。

・先ほどの議題3で出てきた避難所のトイレの話だが、災害でトイレが使えなくなる最大の理由が水ならば、避難所の周りで大きな耐震化工事が進んだときに、何を防ぐために、マンホールトイレが必要となるのかが分からなかった。皆さんにわかりやすくなるよう、これを防ぐためにこれを行うといった順序で事業を進めてほしい。

(委員)

今回のビデオも必要だと思うが、水道が整備されている現代においては伝わりにくいと思う。今後は下記の3点など今の人達にアピールすることを考えたビデオにした方がいいと思う。

- ・日本の水道水は蛇口から飲むことが出来る
- ・蛇口をひねれば水が出るためにはコストがかかっている
- ・民間企業の知恵を借りて、いかに水を使ってもらうか、おいしい水を作るなど

(事務局)

昔の人が作ってくれた施設を将来に繋いでいくためにはどうしたらいいのか、今後皆様にも一緒に考えていただくきっかけになればと思い、ビデオをご覧いただいた。いただいた貴重なご意見を参考にして次のステップに繋げていきたい。

以 上